

元気な三原市の実現に向けて



一般会計予算 451億3,600万円

▲ 地域の人に見守られて遊びも勉強も
放課後子ども教室

市民協働のまちづくりの推進へ



三原市長 五藤康之

の変化に対応するため、財政の健全化を進め、市民と行政による、自立した魅力あるまちづくりに取り組みます。

具体的な施策を抜粋して、長期総合計画の6つの施策大綱に沿ってお知らせします。

- 人がふれあい、ともに参画するまちづくり
- 人を育む教育・文化のまちづくり
- 健やかに暮らせる安らぎのまちづくり
- 自然と共生する快適で安全なまちづくり
- 活力ある産業のまちづくり
- 交通・情報・観光基盤の充実した交流のまちづくり

人がふれあい、ともに参画するまちづくり

住民協働の推進

市民協働のまちづくり推進計画を策定するとともに、協働フォーラムや講演会の開催を通じて、推進施策の具体化に取り組みます。また住民

自治組織に対しては、住民組織活動支援費補助の制度を創設し、協働によるまちづくりを進めます。

パブリックコメント（市民の意見公募）制度を導入し、市民に対して開かれた行政運営を推進します。

男女共同参画社会の実現

男女共同参画プランに基づき、人づくり・環境づくり・社会づくりの取り組みを進めます。

男女がお互いの人権を尊重し、個性や能力を十分に発揮できる社会の実現をめざします。

国際交流・国際協力

シンガポールへの青少年海外研修や、市民による国際交流活動など

人を育む教育・文化のまちづくり

生涯学習の推進

生涯学習推進計画を具体的に進め、生涯学習活動の充実を図り、豊かな人生と潤いのある生活の実現をめざします。

老人大学にエレベーター1基を設置し、学習環境を整備します。

放課後子ども教室の開設

放課後に安心して子どもたちが過ごせる環境づくりのため、市内30小学校すべてでの開設に向け、取り組みを進めます。

学校教育の充実

確かな学力と豊かな人間性を育

を通じた国際感覚豊かな人づくり、外国語を併記した市勢要覧の活用やイキいき体験ガイドによる生活情報提供など、国際化に対応した地域づくりに努めます。

新庁舎建設の推進

議会との連携を図るとともに、関係団体・市民で構成される新庁舎建設整備検討会で、その機能やあり方について検討します。

子どもの安全

緊急通報システムの拡充や通学路の見守りなど子どもの安全プロジェクトを継続します。

学校環境の充実

西小学校の建て替えのための実施設計を行うとともに、鷺浦小学校・幼稚園を中学校跡地に移転するた

めの改修工事と、引き続き第一中学校の建設に取り組みます。学校給食施設は、旧三原の共同調理場の基本計画、実施設計に着手し、給食の安全性確保と業務の効率化を進めます。

文化の振興

昨年完成した芸術文化センター(ポポ)で10月に「鼓童」公演、11月に「NHKのど自慢」公開録画を行います。文化創造の拠点として、文化活動を促進します。



▲市民が気軽に活動でき、交流を深め、芸術に親しめるポポロ

文化財の保護

三原城跡天主台への昇降階段の改良や、城跡周辺の公有化を進め、周辺整備計画を策定します。

スポーツの振興

市民体育大会をはじめ、プロ野球名球会による野球教室などを開催し、スポーツ振興計画のめざす「市民ひとり、1スポーツ」を推進します。

青少年の健全育成

青少年の体験活動の場として、宇根山天文台の天体望遠鏡の改修や宇根山家族村の夏季休暇中の開村を実施し、活用促進を図ります。また仕事や就職に関する不安や悩みを持つ若者の相談窓口「みはら一日若者しごと館」を開設します。



▲お星さまがきれいだな！宇根山天文台の観望会

健やかに暮らせる安心のまちづくり

子育て支援の充実

父親が育児に積極的にかかわるためのお父さん手帳の交付、児童虐待対策のために児童虐待防止マニュアルを作成し、子育てに関する啓発を図ります。

今年度は、小泉小学校と須波小学校に、放課後児童クラブを設置します。

保育所の運営

多様化する保育ニーズに対応するため、病児・病後児など特別保育事業の充実や、保育環境の整備を推進します。

大和認定こども園は、一時保育事業などを一体的に実施し、幼稚園、保育所の連携型の利点を生かした運営に努めます。

高齢者福祉の充実

市内5か所の地域包括支援センターを中心に、介護・認知症予防や高齢者の相談事業などを包括的に進めます。介護保険事業では、適正な給付や

介護サービスの供給体制の確保に努めます。

今月からスタートした後期高齢者医療制度は、広島県後期高齢者医療広域連合と連携し、円滑な制度の運営に努めます。

社会福祉の充実

障害者の自立に向けて、障害者福祉サービスの充実に努めます。また、障害児のいる家庭の子育て支援を支援するための施策を推進します。

保健事業の充実

乳がん検診無料化や妊婦健診の公費負担を2回から5回に増やすなど健診体制を充実します。

また、虐待予防、軽度発達障害児支援の観点から、サン・シープラザに母子相談室を設置します。

地域医療の確保

くい市民病院については、引き続き世羅中央病院との再編協議を進めます。

自然と共生する快適で安全なまちづくり

環境保全・循環型社会

海上セミナー、星空観測会な

どを開催し、環境保全について市民の意識啓発を行います。

市民や事業者、各種団体で構

成する、みはらし環境会議を設立し、地域の特性を生かした環境保全活動を推進します。

竣工後40年が経過した浄化場の整備は、汚泥再生処理センターとして、環境影響評価調査を行い、処理施設の基本設計を実施します。

区画整理

引き続き本郷町東本通土地区画整理事業を推進します。

生活基盤の整備

将来を展望した都市づくりの基本的な方針を定めるため、2か年で都市計画マスタープランを策定します。

水道事業

水道事業基本計画に基づき、計画的な配水管の整備や老朽管の更新を進め、引き続き事務事業の効率化・経営の健全化に努めます。

公共下水道

昨年度までに、927ヘクタール（人口普及率の約28.0%）の区域で、公共下水道が利用できるようになりました。

今年度は、新たに約40ヘクタールの汚水管渠の整備を進めます。

生活の安全

防災

関係機関が一体となり、防犯施

策の計画的・効果的な推進に努めます。

防災

災害時の迅速な対応を図るため、災害危機管理対策のマニュアル化を推進するとともに、関係団体と連携し、高潮を想定した防災訓練を実施します。

交通安全

効果的・効率的な啓発活動の実施と、危険箇所へのガードレール設置などに努めます。

消防

火災予防を推進し火災の減少を図るとともに、消防力の充実・強化をめざし、防火水槽や消防施設設備の充実を図ります。

高潮・雨水対策

市事業として幸崎地区が、県事業として、三原内港地区と松浜地区、下木原地区が実施されます。また、雨水排水対策として、西町地区と松浜地区で事業着手します。

急傾斜地の崩壊対策

須波西町須波ハイツ第四中学校北地区、沼田東町本市地区、本郷町上北方田村窪地区、本郷町余井地区の工事を継続して行います。

活力ある産業のまちづくり

農業の振興

農業・農村地域の発展の方向性を示す農業振興ビジョンを策定するとともに、農業の後継者確保のため新規就農者に対する支援を行います。

小坂地区、久井東および泉地区のほ場整備を進め、今年度末の完成をめざすとともに、新規地区として泉北・沼田西地区の予定地調査を行います。

林業の振興

ひろしまの森づくり事業を実施し、森林の持つ多面的な機能の発揮のための整備に取り組みます。

景観林道須波竜王線などの林道整備事業を継続するとともに、林道整備事業費補助制度により、林内道路網の整備を促進します。

水産業の振興

漁業協同組合の経営基盤強化のため合併を支援するほか、能地漁港の改修を行います。

交通・情報・観光基盤の充実した交流のまちづくり

三原バイパス

糸崎町時広ランプから木原地区

過疎・高齢化対策

実態にあった過疎・高齢化対策へのあり方を検討するとともに、市民参加のシンポジウムを開催し、課題解決に向け取り組みます。

商工業の振興

工業の促進

三原西部・久井・大和工業団地への企業誘致を進めるとともに、本郷工業団地の早期造成と先端企業の誘致に努めます。

久井工業団地の用水確保対策を計画的に実施し、また大和工業団地の用水確保対策も引き続き検討します。

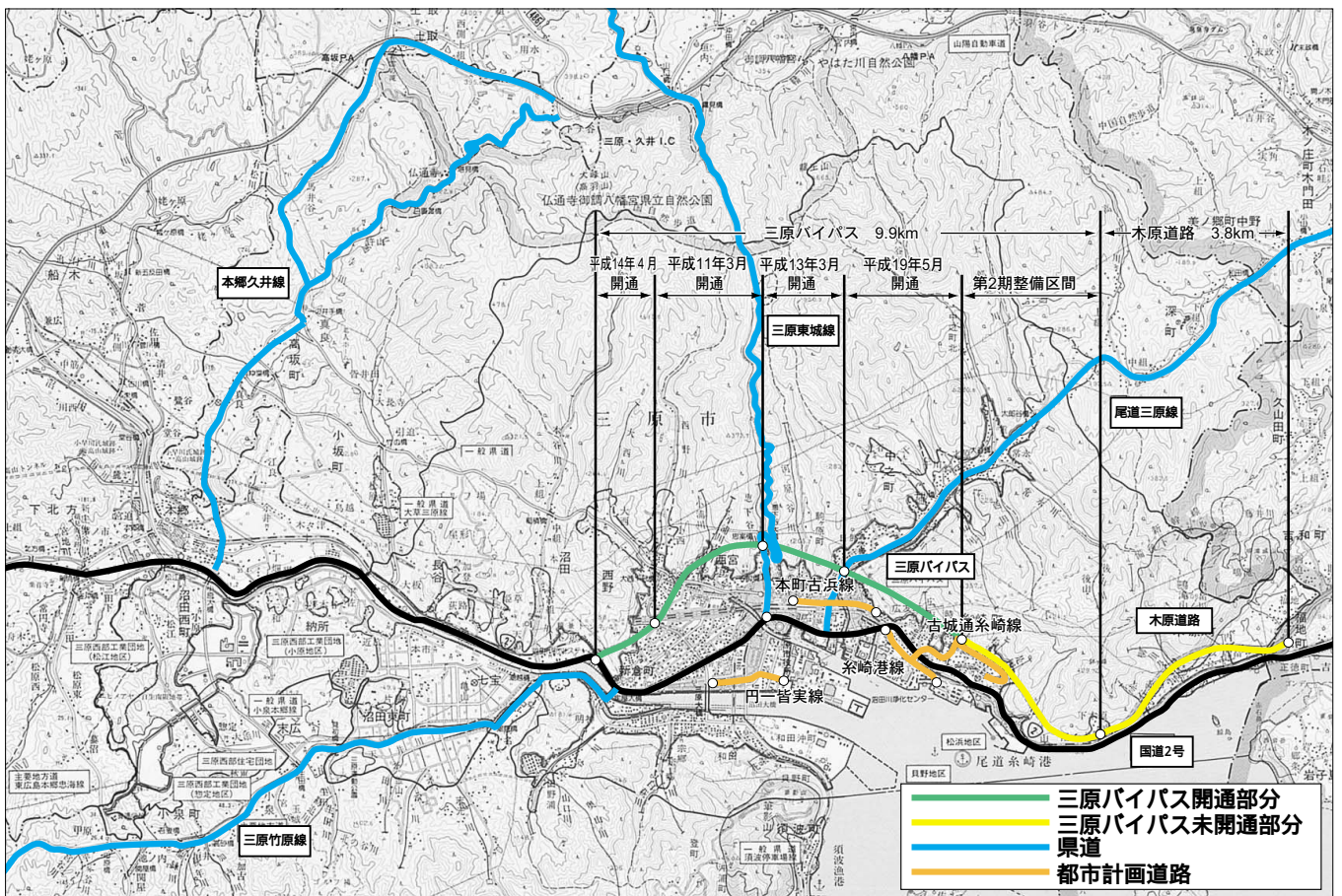
商業・サービスの振興

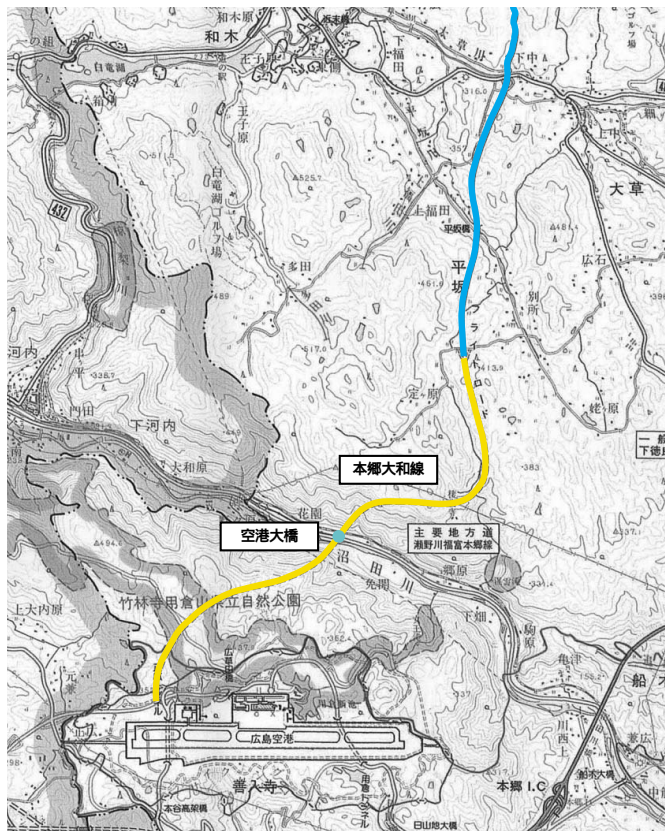
中心市街地活性化事業補助金制度により、集客性の向上や賑わいの創出を行う事業に対して助成を行います。新たに発足する検討会と協働し、総合的に活性化策を検討します。

また、中小企業金融対策として、中小企業融資預託金を引き上げ、活動支援をします。

区において、急ピッチで工事が進められています。

懸案の国道2号の渋滞解消と騒





青線 ———— 本郷大和線開通部分
 黄線 ———— " 未開通部分

音問題の抜本的な解決のため、引き続き三原バイパスの早期全線開通と、三原バイパスと尾道バイパスを結ぶ木原道路の早期完成を国に強く要望します。

県道の整備

三原東城線

恵下谷バイパスの用地測量調査などを行います。

三原竹原線

小泉町の小泉病院前から甲原交差点の区間の工事を進めます。

尾道三原線

引き続き太郎谷付近の用地取得

を進めます。三原東高校から中之町小学校までの区間の工事は今年度で完了します。

三原本郷線

西野の大西川沿いの区間は、引き続き用地取得などを進めます。

また小坂町では、小坂川西側の道路工事を進めます。

本郷大和線（広島中央フライトロード）

引き続き、空港大



▲ アーチ部が結合したフライトロード

橋アーチ部の架橋工事などを行います。

都市計画道路

古城通糸崎線

糸崎四丁目から五丁目までの区間の道路工事を引き続き進め、新たに五丁目地内の測量・設計などを行います。

糸崎港線

天保踏切に架かる歩道橋の工事を引き続き進め、今年度の完成をめざします。

円一皆実線

引き続き、羽仁踏切西側部の用地取得などを行います。

本町古浜線

引き続き、広島大学附属三原幼稚園・小・中学校周辺の用地取得と三原城跡北側130mの工事をを行います。

市道の整備

木原町23号線

引き続き、木原踏切北側から木原小学校南側までの区間で、用地取得と一部工事を行います。

西町29号線

西町一丁目、西野川に架かる橋りょうの架け

替え工事を行います。今年度は樫新橋を撤去し、左岸橋台と橋脚工事を行います。

本郷町駅前愛宕線・駅前惣門線

引き続き、まちづくり事業として生涯学習センターから県道本郷久井線までの区間について、用地取得と工事を行います。

久井町下谷線

久井町久井南小学校北側から下谷橋南側の区間について、測量設計を行います。

大和町平坂線

引き続き、県道下徳良本郷線から約600mの区間で工事を行い、今年度で完了します。

公共交通の充実

地域公共交通の整備は、利用者、事業者、関係機関などで構成する地域公共交通会議を設置し、地域公共交通計画を策定します。

情報基盤整備

沼田東地区に光ケーブル網を敷設します。また、各地区の加入促進に取り組みとともに、多様な情報を提供します。

港湾整備事業

尾道糸崎港松浜地区第1工区の埋立工事が完了し、道路整備などに着手します。貝野地区では引き続き、埋め立てが進められます。

観光・交流の活性化

筆影山・竜王山を題材とした瀬戸の風景写真の全国規模の写真コンテストや定住促進を視野に入れたロングステイ型観光事業を推進します。

交流・定住の促進については、積極的な情報発信と



▲ 筆影山からの素晴らしい眺望

受け入れ体制を整備し、地域の活性化に努めます。ふるさと感の醸成や観光振興、交流・定住促進を図るため、新たにふるさと情報発信事業に取り組みます。

その他

事務・権限の移譲

市民により身近な行政サービスを

提供するため、県から建築確認事務や県道の維持修繕など30項目の事務・権限が移ります。

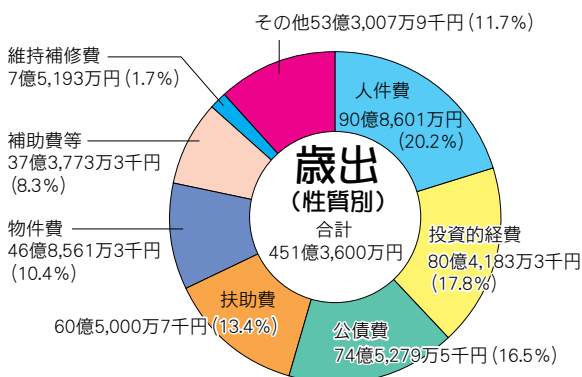
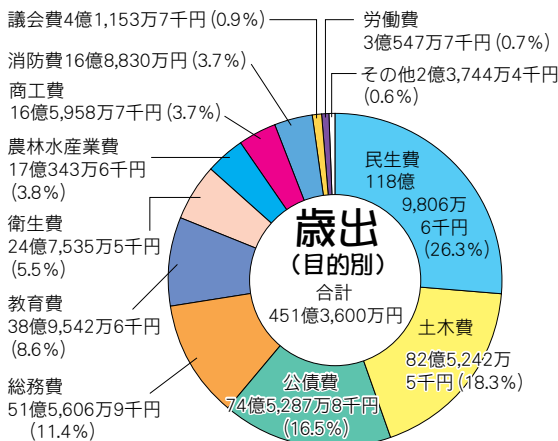
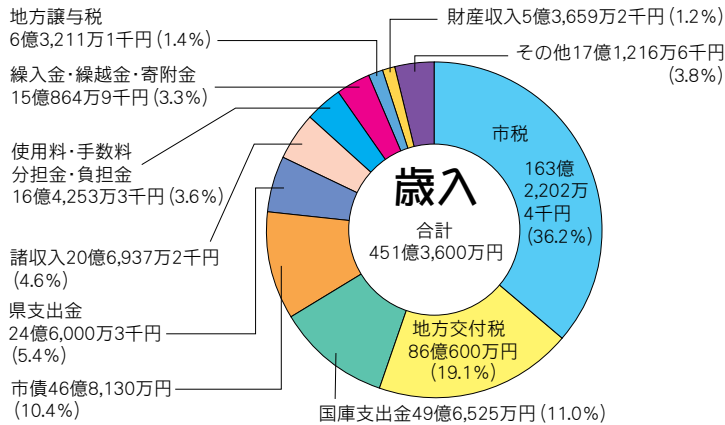
新年度予算

前年度当初に比べ、
0.4%増

一般会計451億3,600万円



一般会計451億3,600万円に、23の特別会計と病院水道の事業会計を含めた総額は、767億1,991万1千円です。前年度の当初予算と比べ、13.5%の減少です。



● 投資的経費
● 補助費等
施設などの建設に要する経費
各種団体などに対する補助金や負担金

予算についての問い合わせ先

財政課 (☎0848-676028 FAX 0848-7101)